平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年１月23日

上 場 会 社 名	日本航空電子工業株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	6807	URL	http://www.jae.co.jp
代　　表　　者	（役職名） 社長	（氏名）	秋山　保孝
問合せ先責任者	（役職名） 経理部長	（氏名）	青木　和彦　(TEL) 03-3780-2752
四半期報告書提出予定日	平成25年２月13日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：有
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第３四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	97,542	16.6	6,995	47.3	6,350	47.7	4,264	75.2
24年３月期第３四半期	83,644	△0.7	4,750	△14.7	4,300	△7.2	2,434	△10.5

(注) 包括利益　25年３月期第３四半期　5,338百万円(266.3%)　24年３月期第３四半期　1,457百万円(14.7%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	47.08	47.07
24年３月期第３四半期	26.88	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	127,667	65,789	51.5
24年３月期	115,101	61,377	53.2

(参考) 自己資本　25年３月期第３四半期　65,712百万円　　24年３月期　61,277百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	5.00	―	5.00	10.00
25年３月期	―	5.00	―		
25年３月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	15.7	9,000	38.0	8,000	38.7	5,000	54.7	55.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有
（注）詳細は、添付資料Ｐ２「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無
②　①以外の会計方針の変更　　：無
③　会計上の見積りの変更　　：無
④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	92,302,608株	24年３月期	92,302,608株
②　期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	1,708,263株	24年３月期	1,710,400株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	90,591,603株	24年３月期３Ｑ	90,597,148株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は、この四半期決算短信の開示時点において実施中であります。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）Ｐ２「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……Ｐ２
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……Ｐ２
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……Ｐ２
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……Ｐ２
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……Ｐ２
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……Ｐ２
３．四半期連結財務諸表 ……Ｐ３
（１）四半期連結貸借対照表 ……Ｐ３
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……Ｐ５
四半期連結損益計算書 ……Ｐ５
四半期連結包括利益計算書 ……Ｐ５
（３）継続企業の前提に関する注記 ……Ｐ６
（４）セグメント情報等 ……Ｐ６
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……Ｐ６

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間の世界経済は、先進主要国では、欧州の財政問題の長期化などから景気回復が遅れ、新興国においても先進国経済の影響による輸出減や設備投資、個人消費の低迷により成長が鈍化しました。また、わが国経済は、期後半において政権交代による景気回復への期待感から株価の回復や為替も円安傾向となりましたが、通期では株式市場の低迷や円高の影響から、依然として厳しい状況下で推移しました。

一方、当社グループの関連するエレクトロニクス市場は、スマートフォンやタブレットＰＣなどの成長機器は堅調に推移しましたが、ノートＰＣ、薄型テレビの需要低迷や設備投資関連分野の新興国経済の減速による需要減、また、自動車分野も米国では堅調に推移したものの、欧州や中国における販売減少や日本における補助金終了などの影響を受け、市場全体は総じて厳しい事業環境となりました。

このような状況のもと、当社グループは主力のコネクタ事業において、スマートフォンやタブレットＰＣなどの成長機器や自動車分野などの成長市場を中心に積極的なグローバルマーケティングと新製品開発活動を展開し、受注・売上の拡大を図るとともに、生産増強投資を進める中で、内製化・自動化への取組み強化によるコストダウン、設備効率化及び諸費用抑制など経営全般にわたる効率化を推進し業績向上に努めました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は975億42百万円（前年同期比117％）、利益面においては、営業利益69億95百万円（前年同期比147％）、経常利益63億50百万円（前年同期比148％）、四半期純利益42億64百万円（前年同期比175％）と増収・増益とすることができました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、新製品生産用設備の取得による有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ125億65百万円増加の1,276億67百万円となりました。

負債は、生産増による仕入債務の増加等により、前連結会計年度末に比べ81億53百万円増加の618億77百万円となりました。

純資産は、主として四半期純利益の計上により前連結会計年度末に比べ44億11百万円増加の657億89百万円となり、自己資本比率は51.5％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想（通期）及び配当予想（期末）につきましては、平成24年4月25日に公表いたしました予想値に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率により計算した税金費用が著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率により計算する方法によっております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,517	13,802
受取手形及び売掛金	23,552	29,741
たな卸資産	9,756	12,395
繰延税金資産	2,014	2,048
その他	3,668	4,880
貸倒引当金	△33	△35
流動資産合計	63,475	62,832
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,272	16,893
機械装置及び運搬具（純額）	12,668	22,609
工具、器具及び備品（純額）	4,309	5,993
土地	5,264	5,280
建設仮勘定	4,379	5,380
有形固定資産合計	43,894	56,157
無形固定資産	1,934	1,831
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,890	2,840
その他	3,041	4,139
貸倒引当金	△135	△135
投資その他の資産合計	5,796	6,845
固定資産合計	51,625	64,834
資産合計	115,101	127,667

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,300	31,313
短期借入金	6,616	6,464
未払法人税等	1,007	1,295
取締役賞与引当金	70	80
その他	6,864	9,627
流動負債合計	37,858	48,780
固定負債		
長期借入金	10,588	8,149
退職給付引当金	4,959	4,656
その他	317	290
固定負債合計	15,865	13,096
負債合計	53,723	61,877
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,690	10,690
資本剰余金	14,439	14,439
利益剰余金	41,760	45,118
自己株式	△1,231	△1,229
株主資本合計	65,658	69,019
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	256	386
為替換算調整勘定	△4,637	△3,693
その他の包括利益累計額合計	△4,381	△3,307
新株予約権	100	77
純資産合計	61,377	65,789
負債純資産合計	115,101	127,667

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
売上高	83,644	97,542
売上原価	66,237	77,598
売上総利益	17,406	19,944
販売費及び一般管理費	12,656	12,948
営業利益	4,750	6,995
営業外収益		
受取利息	24	28
受取配当金	137	233
その他	98	117
営業外収益合計	259	379
営業外費用		
支払利息	84	84
固定資産除却損	183	670
為替差損	403	218
その他	37	50
営業外費用合計	709	1,024
経常利益	4,300	6,350
税金等調整前四半期純利益	4,300	6,350
法人税、住民税及び事業税	1,919	2,113
法人税等調整額	△53	△26
法人税等合計	1,865	2,086
少数株主損益調整前四半期純利益	2,434	4,264
四半期純利益	2,434	4,264

四半期連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,434	4,264
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△125	129
為替換算調整勘定	△852	944
その他の包括利益合計	△977	1,073
四半期包括利益	1,457	5,338
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,457	5,338
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

前第３四半期連結累計期間(自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他(注)2	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	コネクタ事業	インターフェース・ソリューション事業	航機事業				
売上高	65,994	7,886	9,069	694	83,644	―	83,644
セグメント利益又は損失（△）(注)1	6,383	86	1,284	△166	7,587	△2,836	4,750

(注)1 セグメント損益は、四半期連結損益計算書上の営業損益でありますが、各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費2,836百万円については調整額としております。
2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。

当第３四半期連結累計期間(自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他(注)2	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	コネクタ事業	インターフェース・ソリューション事業	航機事業				
売上高	82,798	4,010	10,009	724	97,542	―	97,542
セグメント利益又は損失（△）(注)1	8,643	△62	1,370	△66	9,884	△2,889	6,995

(注)1 セグメント損益は、四半期連結損益計算書上の営業損益でありますが、各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費2,889百万円については調整額としております。
2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。